

日本自殺予防学会認定研修会のお知らせ

学会認定研修会Ⅰ「自殺予防につなげる認知行動療法アプローチ」

ファシリテーター：宗未来（慶應義塾大学医学部精神神経科学教室）

張賢徳（帝京大学医学部附属溝口病院精神神経科）

<研修のねらい・目標> 認知行動療法は、認知、つまり情報処理のプロセスや行動面に働きかけて問題解決できるように手助けする構造化された精神療法です。元々は、うつ病や不安障害に対する精神療法として発展してきましたが、その後、他の様々な精神疾患の治療法としても、その効果が実証されてきています。自殺者の多くが精神障害を有していることから、認知行動療法に用いられるアプローチは自殺対策の一環としても活用が可能と考えられます。

本研修会では、保健や医療、福祉、教育で自殺対策に取り組んでいる方々のために、1) 自傷を含む強い衝動性を目の前で呈している者に対する具体的な援助スキル、自殺危険因子である気分障害・不安障害・統合失調症・そして物質依存といった2) 精神障害に共通の治療標的として改めて重視されてきている診断横断的な“感情”の理解と対応、そして重要な防御因子である3) 関係性やそれを支えるコミュニケーションについて、それぞれ認知行動療法的な枠組みで概観することで、明日からのみなさまの活動に活かしていただければと考えております。

一方で、定型的（高強度）認知行動療法を実施できるようになるためには、専門的なトレーニングを受けながら実践を重ねる必要がありますが、トレーニングの機会が極めて少ないのが現状です。そうしたことから、近年は、定型的認知行動療法の基本的なアプローチを踏まえかつ効果が期待できる簡易型（低強度）認知行動療法が行われるようになってきています。これは、教育資材やITを利用したり、集団を活用したりすることで効果を維持しながらマンパワーの必要性を極力抑えるアプローチについての現状についてもご紹介したいと思います。

【参考図書】大野・田中：保健、医療、福祉、教育にいかす簡易的認知行動療法実践マニュアル、きずな出版、2017

<主な対象者>職種を問わずご関心のある方

日時：2017年9月22日（金）15:00～17:00

会場：つくば国際会議場 中会議室201（茨城県つくば市竹園2-20-3）

参加費：会員5,000円 非会員7,000円 学生3,000円 定員：100名

※第41回大会参加費は含まれませんのでご注意ください。

学会認定研修会Ⅱ「10 エッセンシャルズ：複雑事例に対する自殺予防のための問題解決アプローチ」

コーディネーター・講師：大塚 耕太郎（岩手医科大学医学部神経精神科学講座）

河西 千秋（札幌医科大学医学部神経精神医学講座）

他に、地域・医療において自殺のリスクの高い方に直接対応している多数の専門職が、ファシリテーターを務めます。

<研修のねらい・目標> 専門職の多くは、自殺問題や自殺予防について専門的な教育を受ける機会が少なく、専門職の多くが、自殺の危機にある方への対応について、その知識・技量の不足を自覚し、困難感を感じていることが知られています。本研修会は、複雑事例や深刻事例に対応する際の基本事項とその段取りを習得することを目的として開催されます。研修方法は、自殺のリスクを抱える事例について、10 Essentialsという教育モジュールを用いながら、問題点の抽出から問題解決アプローチまでを専門家のガイドによるワークショップ形式で検討していきます。

<主な対象者>自殺の危機介入へ対応される全職種

日時：2017年9月22日（金）15:00～17:00

会場：つくば国際会議場 中会議室202（茨城県つくば市竹園2-20-3）

参加費：会員5,000円 非会員7,000円 学生3,000円 定員：50名

※第41回大会参加費は含まれませんのでご注意ください。

学会認定研修会参加申込みについて

- ・学会認定研修会は学会員以外の方も参加できます。
- ・必要事項（ご希望の研修会、お名前、ご所属、ご連絡先住所、ご連絡先電話番号）をご記入の上、8月31日までにメールまたはFAXにてお申し込み下さい。

E-mail: info@jasp.gr.jp

Fax: 03-3812-0376

問い合わせ・申込み先 日本自殺予防学会事務局

〒113-0033 東京都文京区本郷2-17-13（有）エム・シー・ミューズ内

学会認定研修会担当 tel.03-3812-0383

詳しくはホームページ <http://www.jasp.gr.jp> をご覧下さい。